第5章 新エネルギー導入の可能性

糸魚川市内で導入可能性の高い新エネルギーを明確にするため、表 に示す 5 つの視点に基づき評価を行い、さらにそれらの総合評価を表 5-2 に示す方法で行いました。

その結果、市内で新エネルギー導入の可能性が高いのは、太陽光発電、太陽熱利用、バイオマス熱利用・燃料製造、中小水力発電、温度差熱利用（温泉熱利用等）、地熱発電であることが明らかになりました。

表 5-1 導入可能性の評価視点

評価視点	評価の方法
a) 市内における利用可能量	利用可能性の大小に応じて 3 段階評価（大きいほど高い点）
b) 技術・製品の実用化の程度	成熟の度合いに応じて 3 段階評価（成熟しているほど高い点）
c) 導入及び運用に係るコスト	コスト優位性に応じて 3 段階評価（コスト優位なほど高い点）
d) 導入に係るその他障害	その他の障害に応じて 3 段階評価（障害が少ないほど高い点）
e) 地域活力向上への貢献	地域活力への貢献に応じて 3 段階評価（貢献するほど高い点）

表 5-2 導入可能性の総合評価の方法

総合評価の区分	総合評価の方法
◎（導入可能性が高い）	a)～e)の合計点が 13 点～15 点の場合
○（導入可能性がやや高い）	a)～e)の合計点が 10 点～12 点の場合
△（導入可能性は低い）	a)～e)の合計点が 7 点～ 9 点の場合
×（導入は困難）	a)～e)の合計点が 0 点～ 6 点の場合

表 5-3 新エネルギーごとの導入可能性（まとめ）

新エネルギー		評価視点					総合評価
		a)	b)	c)	d)	e)	
熱利用分野	太陽熱利用	1	3	3	3	1	○ (11)
	温度差熱利用	3	1	2	2	2	○ (10)
	バイオマス熱利用 ・燃料製造	2	2	1	2	3	○ (10)
	雪氷熱利用	1	2	1	1	2	△ (7)
発電分野	太陽光発電	3	3	3	2	2	◎ (13)
	風力発電	3	2	1	1	1	△ (8)
	バイオマス発電	1	2	1	1	2	△ (7)
	中小水力発電	3	2	2	2	2	○ (11)
	地熱発電	3	2	1	2	2	○ (10)